

『Tfasトレーニングブック』訂正表

該当ページ	誤	正
20	ツールバーのコマンドのは増やしたり、減らしたり、表示位置を移動したりすることができます。	ツールバーのコマンドは増やしたり、減らしたり、表示位置を移動したりすることができます。
27	最小なピッチの線種を実線として変換する場合は✓を入れます。	微小なピッチの線種を実線として変換する場合は✓を入れます。
36	▶折れ線の作図	▶折線の作図
85	[用紙原を基準とする（複数選択可）]に✓が入っている場合は、基準点と指定点を指定する手順はありません。	[用紙原点を基準とする（複数選択可）]に✓が入っている場合は、基準点と指定点を指定する手順はありません。
86	複数の図面を選択するには、[Shift] キーまたは [ctrl] キーを押しながらクリックします。	複数の図面を選択するには、[Shift] キーまたは [Ctrl] キーを押しながらクリックします。
87	一時保存ファイルの保存期間は、7日間です。	バックアップファイルの有効期間は、1日、7日、30日、無制限が選択できます。
91	斜めの野線やペイントも含めてCAD图形化する場合は、ファイル選択時に「処理対象を限定して高速化する」のチェックを外します。	斜めの斜線やペイントも含めてCAD图形化する場合は、ファイル選択時に「処理対象を限定して高速化する」のチェックを外します。
105	基準：[外面②] で、X1通りの柱の角をクリックします⑤。 基準：[中央] で、X2通りの柱面中心をクリックします⑥。 基準：[中央] で、X3通りの柱面中心をクリックします⑦。 同様に、Y3通りの大梁を作図します。 基準：[外面①] 梁幅：[500] 梁成：[650] でY2通りの柱の角をクリックします⑧。	基準：[外面②] で、X1通りの柱の角をクリックします⑤。 基準：[中央] で、X2通りの柱面中心をクリックします⑥。 基準：[中央] で、X3通りの柱面中心をクリックします⑦。 基準：[外面②] で、Y1通りの柱と柱の角をクリックします⑨。 同様に、Y2通りの大梁を作図します。 基準：[外面①] 梁幅：[500] 梁成：[650] でY2通りの柱の角をクリックします⑩。
106	Y2通りから「3800」の位置に、小梁（梁幅：[400] 梁成：[800]）を作図します。	Y2通りから「3800」の位置に、小梁（梁幅：[400] 梁成：[600]）を作図します。
107	リスト表示にすると見やすくなります。	イメージ表示にすると見やすくなります。
116	続けて⑥～⑨を下の図と、完成図（370p「空調完成図」）を参考に作図しましょう。	続けて⑥～⑨を下の図と、完成図（370p「空調完成図」）を参考に作図しましょう。
126	ライブラリ：[ダクト] > [角ダクト] > [エルボ] > [45° エルボ] を選択します。	ライブラリ：[ダクト] > [角ダクト] > [エルボ] > [90° 丸エルボ] を選択します。
131	④【丸ダクト】 - 【還気ダクト】 - [D:150] - [中心] - [フレキ接続] - [フレキシブルダクト]	④【丸ダクト】 - 【排気ダクト】 - [D:150] - [中心] - [フレキ接続] - [フレキシブルダクト]
151	[衛生器具] > [大便器] > [その他の腰掛便器] > [CES9581] を選択します。	[衛生器具] > [大便器] > [その他の腰掛便器] > [CES9581] を選択します。
153	今回は、汚水管、給水管上水、通気管の設定をします。	今回は、汚水管、給水管（上水）、通気管の設定をします。
182	ツールバー [連続選択] を使用すると、繋がっている配管を一括で選択することができます。	ツールバー [連続選択] を使用すると、繋がっている配管を一括で選択することができます。
187	[レジューサを線表現しない] ⑤	[レジューサを単線表現しない] ⑤
254	色種：[青、赤、白] 線種：[今回は多種類] 線種：[通常、0.10, 0.20] レイヤ：[空調：○○]	色種：[白、青、赤] 線種：[今回は多種類] 線種：[通常、0.10, 0.20] レイヤ：[空調：○○]
259	3D登録済み機器の修正をします。	3D登録済み機器の修正をします。
299	断面図のフロアライン 3FL 	断面図のフロアライン 1FL
352	今回は、雲マークと「衛生図面修正します。」と入力しています。	今回は、雲マークと「衛生図面修正お願いします。」と入力しています。

※新たな訂正が発生した際に、差し替えを行う場合がございます。